

齋藤一信議員

エコツーリズム都市認定への取り組みについて

議員 ①認定推進に向けての取り組み状況についてたずねる。

②今後の取り組みの方向性についてたずねる。

市長 ①受け入れのキャパシティ・採算性等の課題を解決するため、現在、関係機関と協議中である。

②従来型とは異なる、地域が主体となつてつくり上げる着地型の観光を推進していきたい。

CAP(子ども暴力防止プログラム)の導入について

議員 ①笠岡市の子どもに對する暴力事故の現状と削減に向けての対応についてたずねる。

②CAPの導入についての可能性、今後の取り組みに

ついてたずねる。

市長 ①平成23年度、要保護児童で身体的虐待の件数は、11件あり、虐待予防への取り組みとしては、CAP実施団体への助成を行うとともに、子どもが安心・安全に過ごせるよう支援体制を整えている。

②関係機関と協力しながら保育・教育等の現場での効果的な対応方法として、今後検討していきたい。

救急医療情報キット「命のバトン」のさらなる普及拡大について

議員 ①笠岡市における「命のバトン」の活用実績についてたずねる。

②今後のさらなる拡充への取り組みについての考えをたずねる。

市長 ①地域の方からは、あつてよかつたとの声が聞かれ、平成23年度に笠岡消防署が利用した実績は10件あり、大変役立っている

という報告をいただいている。

②有効な高齢者や障害者支援策として、社会福祉協議会と連携を図りながら今後の取り組みについて研究していきたい。



命のバトン

大本益之議員

市長の所信(行財政改革と市民参加のまちづくり)について

議員 ①挑戦する職員を育成し、挑戦する市役所として市民満足度を高めたいとのことだが、「挑戦する」の意味するところは何か。

②志縁組織についてはどう考えているのか。

市長 ①失敗を恐れない、

新しいことに積極的に取り組むなど、前向きな姿勢のことを意味している。

②市民活動支援センターにおいて、情報発信や活動相談などの支援を行っている。

議員 挑戦する職員とは具体的にどのような職員か。

市長 できないと思うだけできなく、できる方法を何とか見出そうと努力する職員のことを意味している。

市長の所信(教育と人づくり)について

議員 ①次代のまちづくりのリーダーとなる大人への人づくりについての考えをたずねる。

②笠岡の文化や芸術について、教育と人づくりにどのように生かそうとしているのか。

市長 ①行政としては各種機関と連携して、研修会等の場を確保し、有効に活用していただけるように努めていきたい。

②教育の中で文化や芸術を学ぶことにより、地域への誇りや愛着心を持ち、地域のために頑張ることのできる子どもたちを育てることができると考えている。

市長の所信(生き生きとした地域づくり)について

議員 日照時間の長さを活かしたソーラーのまちへの取り組みについての考えをたずねる。

市長 今後も企業によるソーラー発電設置に関して支援をしていきたい。また、一般家庭においても、補助制度を設け、太陽光発電エネルギーの活用を促進を図っている。

